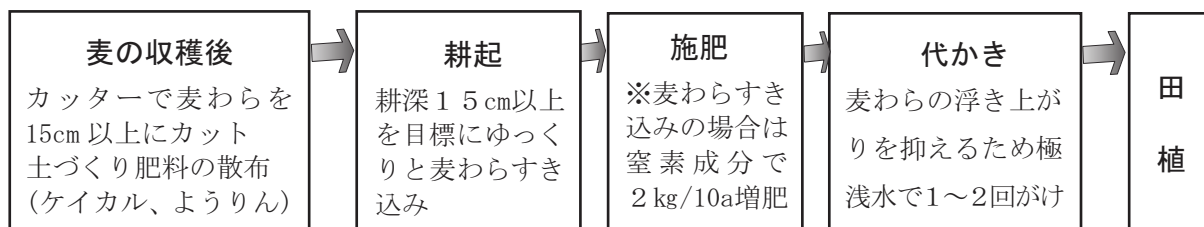


## 麦跡水稻の栽培ポイント

### 1. 田植えまでの作業ポイント



#### 【 注意点 】

- ・水もち及び除草剤の効果向上のため、代かきはスピードを落とし丁寧に行いましょう。  
 ※麦わらすき込み開始後3年間は、わらの分解促進のため窒素成分を増肥します。  
 ※コシヒカリなどは倒伏の恐れがあるため増肥はしません。

#### ○品種別の基肥施肥量

品種名	肥料名 (例)	基肥施用量 (kg/10a)	備 考
あさひの夢	BBあさひの夢 専用222 (12-12-12)	50~60	追肥(穂肥)を省略でき、良食味生産に適します。
とちぎの星	BBとちぎの星 専用ひとふりくん (12-12-12)	30~40	追肥(穂肥)を省略でき、良食味生産に適します。 とちぎの星の生育に合わせ、緩効性成分の 溶出が早い肥料です。倒伏が見られる圃場では 施肥量を減らしましょう。
コシヒカリ	ひとふりくん プレミアム2号 (5-14-14)	60	基肥、穂肥に加え、土づくり肥料である苦土を 3%、ケイ酸を10%含むので、省力的で良食味 生産に適します。
	BB-F850 (基肥専用) (8-25-20)	20	窒素成分が抑えめで、りん酸、加里が多く良食味 生産に適します。また、鉄分を含み土壤中の 有害ガスから根を守ります。追肥はBB NK -202を10kg程度施用しましょう。
新規需要米 (飼料用米)	BBあさひの夢 専用222 (12-12-12)	50~60	追肥(穂肥)を省略できます。
	BB飼料米専用 211 (20-10-10)	25~35	追肥(穂肥)を省略できます。 土壌診断に基づき、りん酸・加里が十分な圃場 で使用して下さい。 1袋15kgなので施用量に注意して下さい。

※ 圃場の地力によって増減をして下さい。

(裏面あり)

## 2. 箱施用剤を使用した効率的な防除

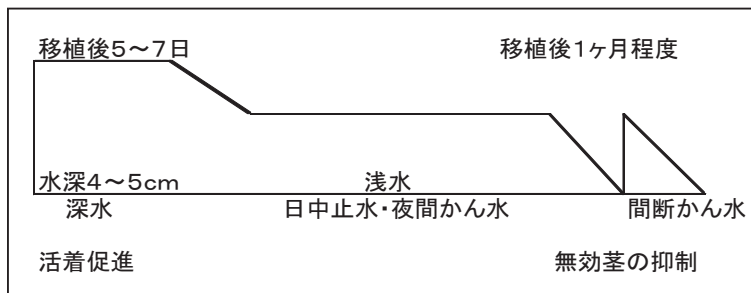
近年、コシヒカリなど耐病性が劣る品種ではイネ縞葉枯病（ゆうれい病）の発生が増加しています。本病を媒介するヒメトビウンカの防除には、フェルテラチェス箱粒剤・ルーチンアドスピノ箱粒剤等の薬剤を使用しましょう。（とちぎの星・あさひの夢は縞葉枯病抵抗性をもっています。）

また、いもち病などの生育前半の病害虫防除のため、フジワンプリンス粒剤・ルーチンアドスピノ箱粒剤等を使用しましょう。

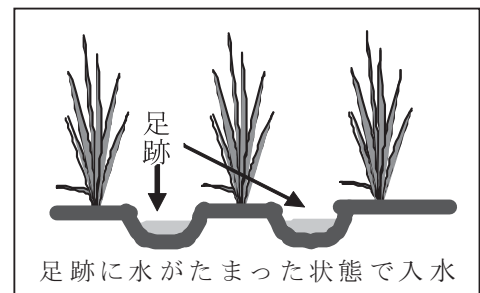
## 3. 水管理のポイント

- (1) 田植後5～7日までは、5cm程度の深水で活着を促進します。その後は浅水管理にします。
- (2) 田植後1ヶ月程度で必要茎数（1株当たり20本程度）が確保できたら間断かん水を行いましょ。
- (3) 麦わらすき込み後にガスが発生した場合は、麦わら分解時にガスが発生するため、早めに（田植後25日頃から）間断かん水に切り替えてガス抜きを行って下さい。

### ○水管理のイメージ



### ○間断かん水の方法



## 4. 水田除草のポイント

- (1) 除草剤の効果を安定させるため、散布後1週間は落水してはいけません。（止水管理）
- (2) 多年生難防除雑草が増えた場合、発生期間が長いため、効果のある薬剤を選びましょう。
- (3) ノビエが残った時は、クリンチャー1キロ粒剤・クリンチャーEW、またはヒエクリーン豆つぶ等の薬剤を散布します。
- (4) ノビエ、広葉雑草が残った時は、ハイカット粒剤（クログワイ・シズイ等）、テックケン1キロ粒剤（ホタルイ・クログワイ等）、レブラス1キロ粒剤（クログワイ・ホタルイ・コナギ等）等の中期剤を使用します。またはアトトリ豆つぶ（オモダカ・クログワイ等）も有効です。

※ 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

※ 雑草の生育が進むと除草剤の効果が劣ります。発生初期に防除しましょう。